



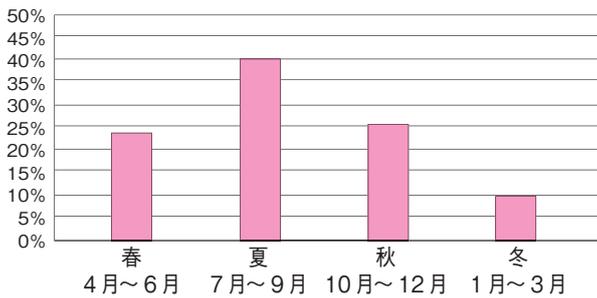
重網 秀次 議員

岐阜県 平成 30 年度農作物被害額  
※下記のデータは推定値

圏域別被害割合	
中濃地域	50%
飛騨地域	18%
西濃	15%
岐阜	9%
東濃	8%

平成 30 年度鳥獣被害時期

春	4月～6月	24%
夏	7月～9月	40%
秋	10月～12月	26%
冬	1月～3月	10%



被害地区別

片山北区	17%
片山南区	16%
市橋地区	14%
般若畑地内	11%
舟子・荻原・小寺地区	5%
他 24 区	

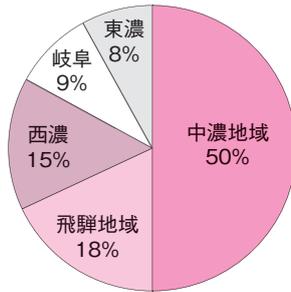
鳥獣の種類

(獣類)	(鳥類)
鹿・いのしし	カラス
ヌートリア・ハクビシン	スズメ
タヌキ・アライグマ	ハト

	水稻	豆類	麦	工芸作物	飼育作物	野菜	果樹
鹿	2万6,163m <sup>2</sup>	1万5,890	1万1,100	8,320			
イノシシ	1万8,691m <sup>2</sup>			3,300	6,600	6,050	
ヌートリア	7,116m <sup>2</sup>						
ハクビシン	4,000m <sup>2</sup>						
カラス	2,110m <sup>2</sup>					963	859

## 被害が増え続ける 鳥獣害対策について

約 2 億 2,200 万円



里山林整備事業で、樹木等の伐採を深南地域に進めた。住処を無くし獣の移動手段を絶った。効果が出ている

町長

鳥獣被害は岐阜県内そして私たちの池田町においても深刻な問題である。高齢化また担い手不足が進む中、安心をして継続的・循環的に生産を上げて行く為には今後農地をどのように守って行くのか。

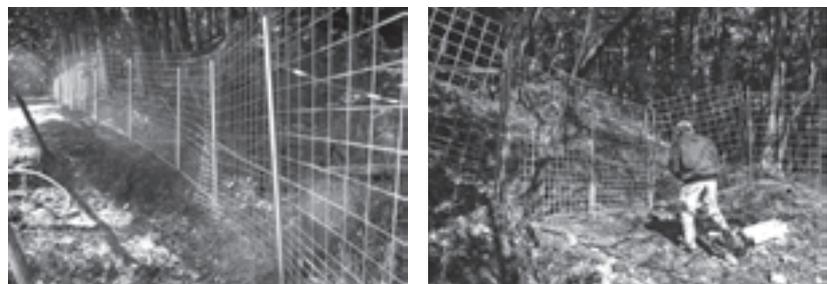
町長

防護柵設置も5年が経過し全面的に補修していかなければいけない為、業者委託をして交付金制度を使って毎年各地区周知しながら、今後対策を行って行く。

後防護柵の設置は。

防護柵(現物支給)を取り付けるために地区役員、耕作者の方に集まって作業しているが高齢化が進んでいる。今後防護柵の設置は。

実態もあり、今後山麓一帯で里山林整備事業を活用し、樹木等の伐採を進めていく計画である。



山麓の防護柵